

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 22日

所属・職名	商経学部・准教授	氏名	戸室健作
研究課題	2017年における都道府県別貧困率の実態解明と貧困の解消策の研究		
研究キーワード	非正社員、ワーキングプア、貧困、労働組合	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>総務省『就業構造基本調査』（2017年）を、独立行政法人統計センターに委託してオーダーメイド集計をしてもらい、都道府県別の「世帯主の就業状態・仕事の主従、世帯主の主な収入の種類、親族世帯人員、世帯所得別世帯数」と、都道府県別の「世帯所得、親族世帯人員別末子の年齢が18歳未満の世帯数」のデータを得た。また、官製ワーキングプアの実態を論文として発表した。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>・晴山一穂・猿橋均編『民主的自治体労働者論—生成と展開、そして未来へ』大月書店、2019年8月9日。 戸室担当:「第3章第2節 公共サービスの担い手としての非正規公務員・委託労働者の働き方」207-231頁。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>本研究を行うために、独立行政法人統計センターに委託してオーダーメイド集計を行った。その手数料に使用した。また、研究室のデスクトップ型パソコンは10年以上前に購入したもので、動作が遅くなっており、研究活動を続けていくことに支障をきたすようになったため、新しいデスクトップ型パソコンに買い換えた。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治労連・地方自治問題研究機構「人事・給与研究会」委員 ・国公労連「公務員制度研究会」委員 ・労働運動総合研究所「雇用問題研究会」委員 <p style="text-align: right;">(本文は1ページ以内にまとめること)</p>			